

国立歴史民俗博物館 研究報告 第22集 共同研究「古代の集落」

古墳時代の竪穴住居集落にみる単位集団の移動

小笠原好彦

畿内の古代集落

広瀬 和雄

律令期集落の復元

—村上遺跡の復元模型をめぐって—

阿部 義平

古代集落と墨書土器

—千葉県八千代市村上込の内遺跡の場合—

平川 南・天野 努・黒田 正典

古代方格状地割の比較研究

—主としてケントゥリア地割と条里地割について—

山田 安彦

郷・村・集落

鬼頭 清明

「村」関係史料抄

平成元年3月

国立歴史民俗博物館

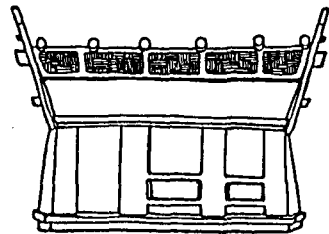
研究報告

第22集 共同研究「古代の集落」

*目次

■刊行にあたって	岡田 茂弘	
■古墳時代の竪穴住居集落にみる単位集団の移動	小笠原好彦	1
■畿内の古代集落	広瀬 和雄	29
■律令期集落の復元		
——村上遺跡の復元模型をめぐって——	阿部 義平	111
■古代集落と墨書土器		
——千葉県八千代市村上込の内遺跡の場合——	平川 南 天野 努 黒田 正典	137
■古代方格状地割の比較研究		
——主としてケントゥリア地割と条里地割について——	山田 安彦	239
■郷・村・集落	鬼頭 清明	1
■「村」関係史料抄	鬼頭 清明(編)	22
共同研究「古代集落遺跡の研究」研究会の記録		303

平成元年3月



**Bulletin of
the National Museum of
Japanese History**

vol. 22 Joint Study of Settlements in Ancient Japan

Contents:

OKADA, S.	Preface	
OGASAWARA, Y.	The Movement of the Unitary Groups in Pit Dwelling-Settlements in the Kofun Period.....	1
HIROSE, K.	Ancient Dwellings in Kinai.....	29
ABE, G.	Restoration of Settlements in Ritsuryō Period —Restoration Model of the Murakami Site—.....	111
HIRAKAWA M. AMANO T.	Settlement Site and Pottery with Inscription in Black Ink —A Case of the Murakami-Komenouchi Site	
KURODA, M.	Yachiyo City, Chiba Prefecture—	137
YAMADA, Y.	A Comparative Study of Ancient Grid-Pattern Land Allotments —Mainly of Centuria Land Allotments and the Jōri (Japanese Grid Pattern Land Division)—.....	239
KITō, K.	<i>Gō, Mura</i> and Settlement	1
	Historical Documents of Ancient <i>Mura</i>	22
	A Record of the Research Group	303

Mar. 1989

国立歴史民俗博物館研究報告寄稿要項

1. 国立歴史民俗博物館研究報告は、歴史学、考古学、民俗学およびそれらの協業による広義の歴史学ならびにそれらと関連する諸科学に関する論文、資料・研究ノート、調査研究活動報告等を掲載・発表することにより、それらの学問の発展に寄与するものである。
2. 国立歴史民俗博物館研究報告に寄稿することができる者は、次のとおりとする。
 - (1) 国立歴史民俗博物館（以下「本館」という）の教官（客員教授等を含む）および本館の組織、運営に関与する者
 - (2) 本館が受け入れた各種研究員および研究協力者等
 - (3) その他本館において適当と認められた者
3. 原稿を寄稿する場合は、論文、資料・研究ノート、調査研究活動報告等のうち、いずれであるかをその表紙に明記するものとする。なお、この区分についての最終的な調整は、国立歴史民俗博物館研究委員会（以下「研究委員会」という）において行う。
4. 原稿執筆における使用言語は、日本語を原則とする。ただし、他の言語を用いる場合は、研究委員会に相談するものとする。
5. 特殊な文字、記号、印刷方法等が必要な場合は、研究委員会に相談するものとする。
6. 寄稿する原稿には、原則として英文により400語程度の要旨を付けるか、あるいは英訳用の和文800字以内の要旨を付けるものとする。
7. 寄稿する原稿の枚数は、原則として制限しない。ただし、研究委員会の判断により、紙数等の関係から分割して掲載することがある。
8. 寄稿する原稿は、必ず清書し、原稿の写し1部を添付するものとする。
9. 寄稿された原稿は、研究委員会において検討のうえ、採否を決定する。
10. 稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。
11. 原稿の寄稿先および連絡先は、次のとおりとする。

〒285 佐倉市城内町117番地 国立歴史民俗博物館内
国立歴史民俗博物館研究委員会（電話 代表 0434-86-0123）

国立歴史民俗博物館研究報告 第22集

平成元年3月25日 印刷
平成元年3月30日 発行（非売品）

編集・発行 国立歴史民俗博物館
〒285 千葉県佐倉市城内町117
電話 0434-86-0123（代表）

印刷 第一法規出版株式会社
〒107 東京都港区南青山2-11-17
電話 03-404-2251（代表）

Bulletin of the National Museum of Japanese History

vol. 22 Joint Study of
Settlements in Ancient Japan

- OGASAWARA, Y. The Movement of the Unitary Groups
in Pit Dwelling-Settlements in the Kofun Period
- HIROSE, K. Ancient Dwellings in Kinai
- ABE, G. Restoration of Settlements in Ritsuryō Period
—Restoration Model of the Murakami Site—
- HIRAKAWA, M. AMANO, T. and KURODA, M. Settlement Site and
Pottery with Inscription in Black Ink
—A Case of the Murakami-Komenouchi
Site Yachiyo City, Chiba Prefecture—
- YAMADA, Y. A Comparative Study of Ancient Grid-Pattern
Land Allotments — Mainly of Centuria Land
Allotments and the Jōri (Japanese Grid Pattern
Land Division) —
- KITŌ, K. *Gō, Mura* and Settlement
Historical Documents of Ancient *Mura*

Mar. 1989